

大岡のまちを写真で笑顔いっぱいになろう

子どもたちと初めて顔を合わせた5年生スタートの日。子どもたちは今年度の「大岡の時間」に本当に期待しているんだと感じました。そんな中、本格的に子どもたちと話し合っていく中で、「今までお世話になってきたまちの人々を笑顔にできるようなことをしたい」「まちの人たちとたくさんかかわりたい」という思いがたくさん湧きました。「どうせやるならば自分たちも楽しめるものがない」という思いをもとに、興味の出始めてきたデジカメやそれにとまなう写真の話をしているうちに、「まちのよさを写真で伝えていくのはどうか」という声が上がリ、一年間の学びにつなげていきたいと強く思い始めました。



学習の方向性が決まり、とにかく写真を撮ってみることにしました。日ごろからデジカメなどを使って、写真を撮ることは慣れているようでしたが、実際にいろいろ撮ってみるとうまくいきません。ピントが合わなかったり、暗くなってしまうたり、技術的な面でうまく撮れないことが多くありました。また、実際に弘明寺商店街に出て、写真を撮りました。お店の「商品」や「働く人と商品」、「まちなみ」など、たくさん写真に撮りました。

そして、たくさん撮った写真を見合い、みんながめざしていく写真について、思いを固めていきました。これからは商店街で行う『写真展』の開催に向けてがんばっていきます。

